

脳神経外科 /2001

脳神経外科医長 相澤 希

診療状況

平成13年の脳神経外科スタッフは平成12年10月からの佐古和廣副院長、徳光直樹、白井和歌子、相澤希の4人体制で診療に当たり現在に至っております。

外来は月曜から金曜日まで二診で行っており、4月からは一診を月、火、水、金曜日を佐古、木曜日を相澤、二診は月、金を相澤が、火、水、木曜日を徳光が担当しております。平成13年の外来新規登録患者数は1756名で前年の1761名から5名の減少となっております。また病棟は平成11年4月以来3階東が外科・脳外科2科混合病棟になり各科27床ずつの構成で現在に至っております。入院患者数は平成10年が350名、11年369名、12年448名、平成13年502名と平成13年は前年比12.1%の伸びとなっております。

疾患別では脳虚血129(25.7%)、脳内血腫80(15.6%)、くも膜下出血34(6.8%)、脳腫瘍26(5.2%)、頭部外傷83(16.5%)と手術を含めた積極的治療が必要な疾患も多く、満床にも関わらず無理に入院させていただいているスタッフの皆様に深謝いたしますとともに、今後ともご理解、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

手術

平成13年手術総数は151件で昨年の従来の件数減から12件増となっております。また本年の手術件数の特徴は動脈瘤 clipping35件中未破裂動脈瘤が10件27.8%と未破裂動脈瘤が増加傾向にあることと、頸椎手術が3件と漸増傾向にあることです。

総数	151件	(全身麻酔	112件、局所麻酔	39)
脳動脈瘤	36件	(未破裂動脈瘤	10件)	
脳腫瘍摘出術	14件	(経蝶形骨洞手術	2件)	
破裂動脈瘤	25件	神経膠芽腫	4件	
未破裂動脈瘤	10件	髄膜腫	5件	
Coiling(血管内手術)	1件	転移性腫瘍	5件	
血行再建術	7件	下垂体腺腫	2件	
CEA	5件	脊椎/脊髄手術	3件	
STA-MCA	1件	微小血管減圧術	5件	
PTA	1件	外減圧術	2件	
頭蓋内血腫除去術	19件	慢性硬膜下血腫	30件	
開頭血腫除去術	15件	骨形成術	12件	
定位的血腫除去術	4件	急性硬膜外血腫	2件	
脳室ドレナージ術	3件	急性硬膜下血腫	3件	
Shunt術	10件	その他	5件	

特記すべきこと

平成13年4月から脳死臓器提供施設となりましたが、実際に稼働することもなく現在に至っております。脳死判定委員は3月に小滝先生が転出され、後任として麻酔科櫻井一先生が着任され、より一層の充実が図れるものと期待しております。

脳ドック

平成13年11月1日より当院もついに脳ドックを開始し2ヶ月で26名の方がドックを受けられております。動脈瘤や脳腫瘍の発見率はまだ公表する数字ではありませんが一般に動脈瘤は5~7%といわれており、多くの方が脳ドックを受けられ発症を未然に予防できることを願っております。

今後の展望

今後は発症疾患ばかりでなく特に脳ドック等による予防医学が一層重要になるものと考えております。

脳神経外科の扱う疾患は多義にわたりますが、特に3本柱である、脳血管障害、脳腫瘍、脊髄・脊椎疾患を中心にFunctional surgery(三叉神経痛、顔面痙攣等)にも力を注いで参りたいと考えております。